



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

飯能ロータリークラブ会報

“世界へのプレゼントになろう”

RI会長
K.R.ラビンドラン
2570地区ガバナー
高柳育行

「ロータリーの心を実践しよう」

第2659例会 2015. 8. 5

—— 会員増強・新クラブ結成推進月間 ——

天候 晴 (NO. 52-06)

会長 間邊元幸 幹事 土屋 崇

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 市川昭君、伊澤君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

【ガバナー公式訪問】飯能・日高合同例会 ホテルヘリテージ飯能sta.

- ・点鐘 間邊会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 川口職業奉仕委員
- ・ビジター 2015-16年度 国際ロータリー
第2570地区ガバナー
高柳育行様 (本庄RC)
第3グループガバナー補佐
吉田譲二様 (入間南RC)
金井福則様 (本庄RC)
戸谷清一様 (本庄RC)
- ・記念卓話 高柳育行ガバナー

【会長報告】

間邊会長: 本日は猛暑の中、高柳ガバナー、吉田補佐、本当に有難うございます。戸谷様、金井様、遠方より本当に有難うございます。先程、入会3年未満の会員(飯能5名、日高4名)とガバナーとの懇談会を開きました。とても有意義な時間を持つ事が出来ました。特に、ガバナーからの「縁を大切に」という言葉がとても印象的でした。新年度に入り1か月が経ったばかりですが、米山功労者、ポールハリスフェローの皆様にバッジを贈呈します。

◎米山功労者賞 (マルチプル)

和泉由起夫会員(2回)、土屋 崇会員(2回)

◎ポールハリスフェロー 吉田行男会員

◎ポールハリスフェロー (マルチプル)

服部融亮会員(2回)、新井景三会員(3回)

木川一男会員(6回)、間邊元幸会員(2回)

ご協力有難うございました(拍手)。

古本会長: 会場の手配やご準備等、大変有難うございました。一日よろしくお願い致します。

【幹事報告】

土屋(崇)君

- ・ロータリーレート 1 \$ = 124円
- ・8月の月間テーマは「会員増強・新クラブ結成推進月間」に変更されます。

◎例会変更のお知らせ

◇狭山中央RC

- ・9/22(火) 例会取止
- ・10/27(火) 10/17(土) 地域交流フリーマーケットに振替

◇新狭山RC

- ・9/14(月) 12(土)13(日) 文理祭に振替
- ・9/21(月) 法定休日
- ・9/28(月) 26(土) 彩の国ロードサポートに振替

【出席報告】MU・無断欠席なし 伊澤出席委員

会員数	当 日	前々回修正		
全 数	対 象	出席数	出席率	出 席 率
58名	6名	48名	82.76%	87.93%

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・病気療養中で欠席が続いています。本日は出席出来てうれしいです。 山岸君
- ・私事ですが飯能靖和病院創立35周年記念誌を発行させて頂きました。飯能医師会長石井先生、埼玉県医師会長金井先生、全日本医師会長横倉先生、埼玉県知事上田様、近隣の6つの市長の祝辞を頂き感謝しています。木川君
- ・高柳ガバナーはじめご来訪の皆様ようこそ。 平沼君、木川君、吉島君、間邊君 土屋(崇)君、小川君、和泉君、吉田(行)君

時、一般的に日本では「プレゼントする」という表現だろうと思います。デパートに「ギフト」という表現があるのも事実です。欧米では「ギフト」には「神から与えられた、神からの贈り物」という意味合いもあるようですし「神から与えられた才能」というような意味合いもあるようです。日本では心を込めて人に贈り物をする時「プレゼント」という言葉を使う気が致します。ロータリー日本語局が日本語に訳す時に、日本の習慣、国民性、いろいろなものを考えた中で「プレゼント」という言葉を選ばれたんだろうと思います。是非そんな事でご理解を頂ければと思います。

私の話は『ロータリーの友』7月号に書かれている内容と重複するところがあるかと思えます。ガバナーが「RIの役員の一員である」という事からしますと、RI会長テーマを皆様によく理解して頂く事が私の役目の1つかなというふうに思っております。7月号冒頭のインドのお話には、「物質的な価値ではなく、贈り主の心がどれだけ込められているか」、そんな事が書かれていたかと思えます。

昨日訪問したクラブで、先程ご紹介にありました私の「絵手紙」について紹介して頂きました。「どれだけ心が込められたか」と言う自信の無いところですが、たかが「はがき1枚」ですが、今年度、地区の皆様の誕生日に絵手紙を描こうというふうに思っております。なかなか「年度計画書」が手元に届かなかつたり誤って抜けてしまった方もいらっしゃるかと思えますが、それでもほぼ毎日何枚かずつ投函しているところです。2570地区のロータリアン一人一人が誕生日を迎えられた事に対しガバナーとしての1つの気持ちの表し方として出させて頂きました。絵手紙をやっている方には「こんな出来か」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが。高価なものではありません。切手52円とはがき1枚、絵を描くための顔彩の費用をひっくるめてもたかが知れている金額です。でも、昨日も「誕生日カードを頂いたのでニコニコに投入致します」という発表をして頂きました。私としては「だいぶそれで効果があるのかな」と思った次第でございます。

高価な物や自分が買えないような物を貰った時は確かに「嬉しい」というのはあります。ただ、それが全てなのでしょう。ラビンドラン氏の言う「心がこもった物」。7月号に書かれていたのは「クリシュナとスダマ」のお話でした。自分の所にある、ありったけの米を持って王様に、今の苦しい生活を何とかして欲しいとお願いに行く。それを読み取った王様が、お願

いに行ったスダマの願いを全部叶えてあげるというもの。土産に持って行った物は大したものではありません。王様からすれば大した事ではないかもしれないけれども、生活的に苦しんでいる人達にとっては素晴らしいプレゼントを頂いたという事だと思います。我々が普段ロータリアンとして奉仕をする、もしくは何か行動する時、そういった考えが出来ないだろうかというふうに思います。

もう1つお伝えしたいのが「恩送り」という言葉。親から命を貰ったり愛情を頂いたり、家族を与えられたりといった、生まれながらのさまざまな恩に応える事は思っていないかなかなかしないのが現実ではないでしょうか。親に対しての「ありがとう」の一言や、親に何かしてあげるといふ事もあるかもしれませんが。それはされているかもしれませんが、もっと違った本来だったら恩返ししたいのだけれども出来ない場合というのものではないでしょうか。

私の例で恐縮ですが、中学校の恩師と数十年ぶりにお会いした時、私の今の状況を見てたいへん嬉しく思ったという話をされました。その先生には特別何か恩返しをしたわけではなく、先生からすれば「私の成長した様子を見て」嬉しく思ったという事だと思うのですがある意味ではそれでその恩師に対し恩返しが出来たのかなと思いました。その人に特別何かするわけではないのですが、「自分が成長していく」という事で指導してくれた方に恩返し出来る。その人が亡くなってしまったら何もしてあげられませんが、誰かほかの人の手助けをしてあげれば、その恩に報いる、恩返しが出来るといふ事なのではないか。世の中を考えた時、あるいはロータリーという場を考えた時、この「恩送り」という言葉是非皆さんに再認識して頂きたい。

先程、米山、財団にご寄付を頂いた方はバッジを渡されたと思います。ガバナーになりますと「会員増強してくれ」「財団に寄付してくれ」等の話をしがちだと思いますが、私はあえてあまりしないように心掛けております。だからと言って、協力しなくてもいいというわけでもないわけです。今、この日本という国に生活出来、食べ物にもそれ程不自由なく、安全



で安心出来ている。多少、マスコミを見ますと社会的に問題もあるようですが、世界から見た時には非常に恵まれた国だろうと思います。その中で、我が2570地区で財団の奨学金を頂いた学生が世界の場で人道的支援をやっている。例えば、金子由佳さんはガザで一生懸命人道的支援をされています。我々がそこへ行ってそこの人達のために出来るかと言えば、自分達の仕事等を考えて、することは出来ないわけであります。しかしながら、財団への寄付を通じて間接的にその人達を支援し、その人達はその頂いた物で今度はその紛争でたいへんな生活をしている人達の面倒を見、お世話をしている。こういう事を考えた時、この「恩送り」という言葉が当てはまらないかなというふうに思います。

私達は多くのさまざまな恩を頂いた中で、経済的にも健康的にも恵まれて生活が出来ている。その中で得た一部のお金を寄付として提供する中で、提供を受けた学生が、今度は世界の場で人道的な支援をしている。こういった事が、この、ラビンドラン氏の言う「恩送り」の例ではないかなと思います。無理やりという事ではなく、そういった状況をご理解頂いた上でご協力を賜ればというふうに思います。

地区として「ロータリーの心を実践しよう」というテーマを掲げました。RI会長の「世界へのプレゼント」になってしまうと何か自分から遠く離れた、あるいは国際奉仕がするようなものと捉えられてしまう。私としては「家族へのプレゼント」「クラブへのプレゼント」「地域へのプレゼント」もあるだろう、それらを全部含めて「世界へのプレゼント」という事ではないかなと思いましたが。それを意識して頂くため「ロータリーの心」で「実践」する事がそこに繋がってくれるのではないかと思います、このテーマを掲げさせて頂きました。地区運営に当たっては「RIの掲げる戦略計画に沿って、活力あるクラブとなるよう支援に努めます」「謙虚で誠実、思いやりのある心で実践に努めます」「適切な地区運営と財務管理に努めます」という3つの約束を致しました。両クラブの会長テーマとも近いものがあるなど改めて感じております。私自身、ロータリアンになって27年が経過し、その中で感じて来た事、また最近特に感じた事を基に約束を3つ挙げた次第です。

今日初めてお会いする方が大半なのだと思います。「ガバナーとしてどうなんだろう」「どんな人がガバナーなのだろう」。私としては1年間、ガバナーという役目を頂いたので、その肩書を以って、精一杯リーダーとして務めて参りたい。その中で私としては行動で示すのがベストだろうなと思っております。皆様の中で地区HPをご覧になられた方はどの位いらっしゃるのでしょうか。前年度のHPはご覧になっていますか。1つは、地区のフェイスブックを立ち上げました。今日例会が終わる頃にはこの様子をアップします。昨日は朝霞RCでした。3卓に分かれてRLI方式でクラブ協議会を行って頂きました。「地区フェイスブック」の所をクリックして頂きますと昨日の様子はご覧になって頂けます。その日のうちに

アップしています。皆さんに「行動、実践するガバナーですよ」というのを認識して頂くために対応しているつもりでございます。飯能、日高の皆様も、活動内容等の画像とコメントを付けて送って頂ければ掲載致します。是非ご協力頂きたい。2570地区の各クラブが「こんなクラブをやっていますよ」というのを皆さんでシェア、共有して頂きたいと思っております。ご年輩の方の中には初めて聞くような話と思われる方もいらっしゃるかと思います。先程ご紹介した「活力のあるクラブとなるよう支援に努めます」の、1つの具体的な例としてそんな事をやっているという事を皆様にもご理解頂き、ご協力を頂ければと思っております。

最後になりますが、50年以上の歴史がある飯能RC、30年以上の歴史のある日高RC、共に会長幹事とお話させて頂いた中でそれぞれのカラーがあつて素晴らしいクラブだなと思えました。その中で是非地区への役員のご協力も頂ければと思っております。クラブ内で活動するのも1つですが、地区に出る事によって、多くの他のクラブの皆様にも接する事が出来ます。そういった中で知識が身に付くだけでなく、自分自身も磨かれるのではないかなと思っております。そういった縁を皆様にも作って頂きたい。是非次年度は両クラブから地区への委員として協力出来る方が出る事をご期待申し上げたいと思っております。

私達は、感謝の言葉を頂いた時に、自ら貢献が出来たという事を知るのではないのでしょうか。私は歯科の開業医ですので、治療が終わると「有難うございました」という事で患者さんは帰って行かれます。「これで私の持っている知識や技術が役に立っているのかな」というふうに思います。皆様それぞれの仕事でそんな日々を過ごされていると思います。ロータリーという場を通じて、より人生の幅を広げて頂く、また、楽しい人生を歩んで頂く中でロータリーというものをそれぞれもう一回振り返って頂ければと思っております。

大した「プレゼント」になる卓話ではなかったかもしれませんが、皆様はもっと素晴らしい「プレゼント」が出来の方々だと思っております。「世界へのプレゼント」になって頂きますよう、皆様お一人お一人の今後のご活躍をご祈念致しまして、卓話とさせて頂きます。

ご清聴頂きまして有難うございました。

◎記念撮影

平成27年9月のプログラム (月間テーマ 基本的教育と識字率向上月間)

月日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
9. 2	2,663	卓話「50周年記念演奏スライド」 【四つのテスト】	柏木君 神田(敬)君 [職業奉仕]
9. 9	2,664	卓話「(タイトル未定)」 ASエルフェン埼玉様 【結婚・誕生日祝】	川口君 増島君 [プログラム]
9.16	2,665	卓話「(タイトル未定)」 飯能RC 服部融亮会員	前島君 君 [社会奉仕]
9.23	2,666	例会取消 (法定休日)	
9.30	2,667	グループごとに分かれての ディスカッション 飯能RC 雨間保弘会員	本橋君 松下君 [会員増強]